

新しい時代に向けて
大切にしたい

浦安っ子の学び

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

ICTの効果的な活用による情報教育の充実

ICT…コンピュータを使った
情報通信技術

浦安市では児童生徒の自ら考える力や学習意欲を高め、主体的・対話的で深い学びの実現のためのツールとして、タブレット端末の活用を全小・中学校で進め、よりわかりやすい授業づくりを目指しています。タブレット端末の活用を進めることで、これからの社会を生き抜くうえで児童生徒に必要な情報活用能力の育成を推進します。



タブレット活用推進モデル校では「わかりやすい」と答えた割合が高くなっています

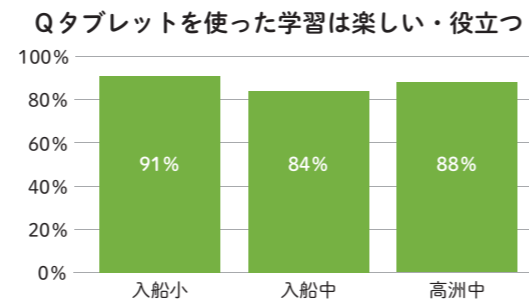
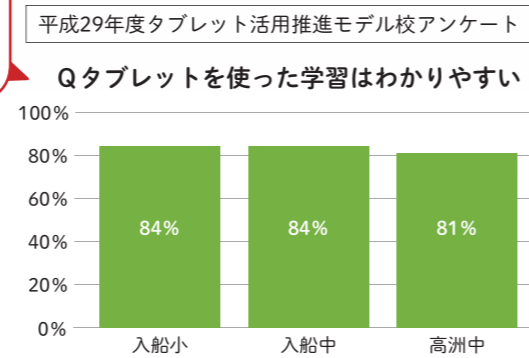
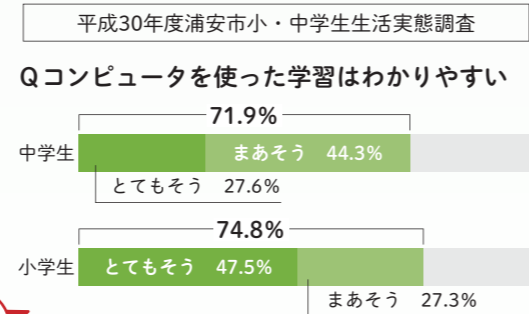
ICT支援員の派遣

ICTの効果的な活用を推進するため、今年度より市内の全小・中学校に週1回ICT支援員を派遣しています。ICT支援員は学校でICTを活用した授業が円滑に進むように、機器の準備や使い方の説明など教員や児童生徒のICT利活用をサポートしています。



先生の声

- 毎週来てくれるので、ICTを使った授業の相談がしやすいです
- 機器の準備や調整を手伝ってくれるので、授業準備の時間が短縮できています
- 突然の機器トラブルに対応してくれるので安心して授業ができます



ICT支援員 杉山 靖子さん



タブレットを使うと子どもたちは、目がきらきらします。まずは、先生にも子どもにもその良さを感じて、気に入っていただくように心がけています。子どもたちや先生の「やりたい」を形にすることが私の目標です。

明海大学との連携を通して

交流を通して、国際理解を深める

明海小学校では、国際理解教育の一環として明海大学の留学生と交流会を行っています。交流は、2001年に始まり、今年で18回目を迎えました。

当日は、中国、韓国、タイ、ベトナム、台湾からの留学生と明海小学校の児童が歌やゲームを通して様々な国への理解を深めています。



▲留学生との交流
▼全校児童で留学生を歓迎

浦安市教育委員会と明海大学との連携

教育委員会と明海大学は、外国語活動や日本語指導に関して相互に協力し、学校や地域の教育の充実を目的とした協定を平成29年3月に締結しました。

連携の一環として、明海大学の学生が市内の小学校において外国語活動の学習補助をしています。



日の出小学校における外国語活動補助

福祉体験学習を通して

実際に車いすや白杖を体験することで、福祉への理解を深め、自分たちにできることを考えるきっかけとしています。



白杖体験

こどもの声

- 実際に体験することで、サポートを必要としている方とサポートする方のコミュニケーションがとても大切だとわかりました

こどもの声

- 少しでも段差があると、車いすを動かすことがとても難しかったです
- 置いてある自転車の近くを車いすで通ると、ぶつかりそうな感じがして、とても怖かったです
- 自転車走行のルールを守ることや迷惑駐車についてみんなで考えることが大切だと思いました



車いす体験

高洲小学校福祉体験学習

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて

浦安市でキャンプを行った車いすバスケットボールオーストラリア代表チームと見明川小学校の6年生が交流体験を行い、車いすバスケットボールを教してもらったり、一緒に競技をしたりして、楽しさや難しさを体感しました。



実際に車いすに乗って競技を体験